

## 調整土砂とは

碎石工場で採取される表土・軟岩等を粒度調整した土砂製品で、盛土、路床置換え、埋戻し等の材料としてご使用頂けます。

## 調整土砂の製品規格と使用法

表3

規格(mm)	性状	用途・使用方法
300~0	礫混じり	埋立て・築堤盛土・路体盛土
200~0		埋立て・築堤盛土・路体盛土・路床置換・軟弱地盤の置換・構造物の埋戻し
150~0		路体盛土・路床置換・軟弱地盤の置換・構造物の埋戻し
80~0		路床置換・軟弱地盤の置換・構造物の埋戻し
150~0	粘性土混じり	土羽用・緑化用客土・止水用盛土

\* 使用法、用途に応じて礫や粘性土の混合割合を変えます。

\* 調整土砂は原料として表土、軟岩を用いる事から碎石路盤材の規格値を満足するものではありません。シラスや建設発生土等の代替材料として積算、使用下さい。

## 施工性 (他の盛土、路床置換え、埋戻し材に比して)

- CBR** …………… ・品質が均一で、支持力のバラつきが少なく強度が大。  
 ・自然含水比の調整が可能であり、最適含水比も低く転圧効果が高い。  
 ・施工機械は他の材料と同等の物で使用可能。
- 単位容積質量** …… ・養生期間中の雨による流出や手戻り作業が少なく、工期短縮が可能。  
 ・養生期間中の乾燥による路面からの粉塵発生が少ない。
- 透水・不透水** …… ・水が多い現場や、軟弱地盤での使用が可能であり、自然沈下が少ない。  
 ・表土の混合率を増す事により止水性を持たす事も可能。  
 ・使用目的に応じて最大粒径を変える事が出来る。(表3参照)

## 使用上のメリット

- 安定供給**  
 ・県下全域で生産出来る為、**安定的に供給が可能。**
- 単位容積質量**  
 ・水に強い為、天候に左右され難く**工期短縮が可能。**  
 ・同等材料に比べ密度が大きく、現場の掘削量、使用量が少なく **経済的。**  
 ・他の購入材と同等程度の価格で供給可能。
- 資源の有効利用**  
 ・再生材等と混合することにより**資源の有効利用**に寄与。



左：黒土 中央：真砂土 右：調整土砂  
 エロージョン防止対策

## 試験結果

表1

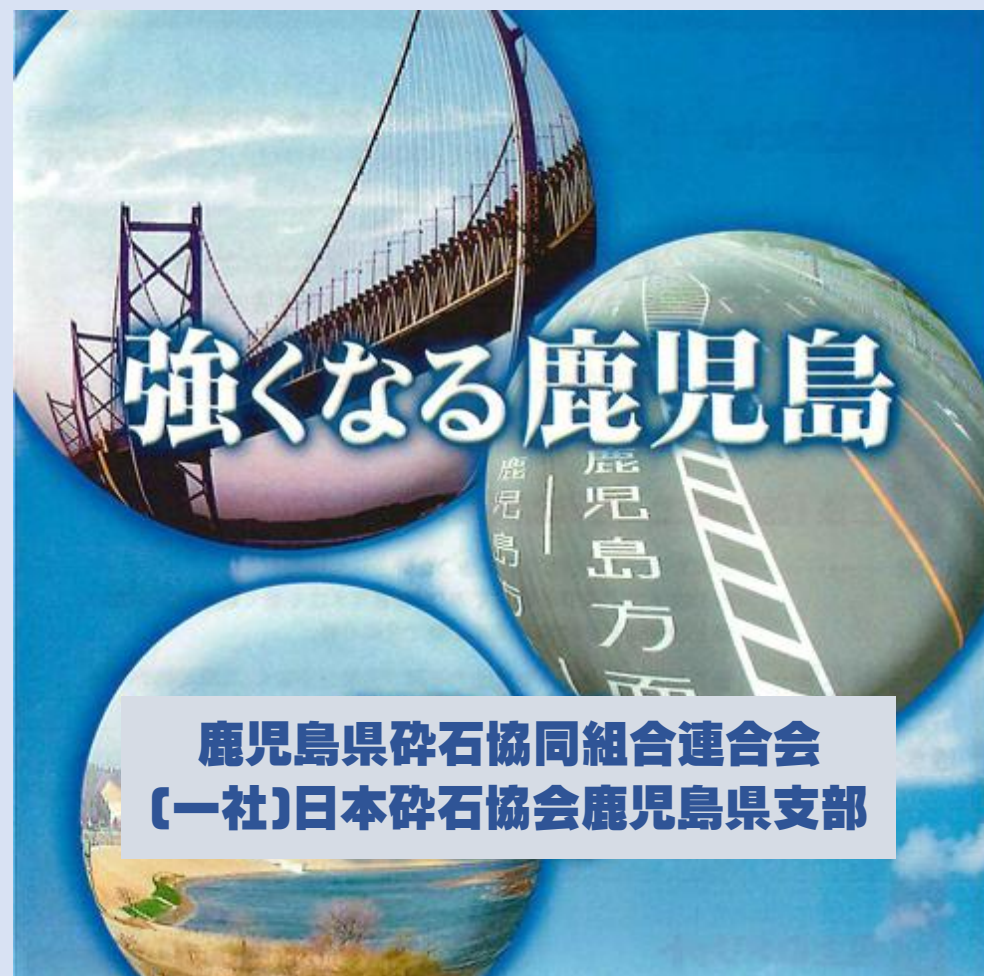
品質項目	路盤用				その他	
	A工場	B工場	シラス	調整砂	止水用	調整砂
修正CBR (%)	66.50	49.80	30.70	29.40	—	29.40
塑性指数	NP	NP	NP	NP	34.60	NP
最適含水比 (%)	7.17	10.90	21.73	10.10	26.30	10.10
最大乾燥密度(g/m <sup>3</sup> )	2.20	1.91	1.32	1.81	1.58	1.81
透水係数(cm/s)	—	—	—	—	6.70E-	—
単位容積質量(kg/ℓ)	1.58	1.53	0.82	—	07	—
粘着力(kN/m <sup>2</sup> )	—	—	—	9.64	—	9.64
内部摩擦角(33.6°)	—	—	—	33.60	—	33.60





**Memo**

# 調整土砂



鹿児島県砕石協同組合連合会  
(一社)日本砕石協会鹿児島県支部

鹿児島県鹿児島市鴨池新町 21-1 町田ビル 205  
〒890-0064 TEL/099-255-2311 FAX/099-255-2317  
EMAIL [saisekiren@po3.synapse.ne.jp](mailto:saisekiren@po3.synapse.ne.jp)